

2023年11月 現在

FUJITSU Software

Interstage List Works Standard Edition V11.0.0

本商品は、様々なプラットフォームから出力された帳票を電子化して一元管理し、帳票の有効活用と帳票の印刷配信を実現するソフトウェアです。電子帳票の保存、管理、流通、活用、印刷配信まで、インターネット環境での帳票管理基盤を提供し、セキュリティ対策と情報共有環境を備え、業務の効率化を実現します。さらに、帳票システムのセンターからの集中管理により、大量・高速印刷したり、遠隔地にある拠点への帳票配信・印刷に対する 運用管理コストの削減ができます。

- **サーバ**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **クライアント**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY

- **サーバ**

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **クライアント**

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) /
Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1

1. 特長

- (1) 現有の富士通ホストのオーバーレイパターンがそのまま使用できます。
- (2) 現行印刷(JEF) でご使用のすべての文字種が使用できます。
- (3) 帳票データの流通が容易になります。
- (4) Windows サーバのアプリケーションが出力する帳票を登録できます。(NetCOBOL, MeFt, Interstage List Creator のいずれか必要)
- (5) Web クライアントから帳票資源にアクセスできます。(Web連携機能)
- (6) List Worksプリンタドライバにより、Windowsの一般アプリケーションが出力する帳票を登録できます。

2. 機能概要

Interstage List Worksは主要機能として、従来紙に出力していた帳票を電子化して管理し、帳票のデータをセキュアに守りながらデータを有効活用する帳票保管活用機能、および帳票の出力先や印刷状態を一元管理して、各拠点へ帳票を配信・印刷することができる帳票印刷配信機能があります。

・帳票保管活用機能

帳票出力アプリケーションが出力した帳票をサーバに登録し、帳票の保存・管理をします。

保管された帳票は、クライアント機能を使用して、印刷、表示、検索、データ変換などにより、活用することができます。

・帳票印刷配信機能

帳票出力アプリケーションが出力した帳票、および帳票の出力先・印刷方法などの情報をセンターで一元管理します。

帳票は、センターで大量・高速印刷したり、遠隔地にある拠点へ配信し印刷することができます。

また、プリンタのトナー消費量を節約できるトナー削減印刷や、2回目以降の印刷を示す再印刷マークの印字機能を利用することができます。

上記の各主要機能において利用できる詳細機能について以下に説明します。

3. 帳票保管活用機能におけるクライアント機能

(1) 帳票一覧機能

- ・分かり易い日本語で、利用権を持つ帳票のみを一覧で表示します。

(2) 帳票リアル表示機能

- ・図形メディア、KOL6形式オーバーレイが利用できます。
- ・オーバーレイパターンの表示/非表示、カラー定義、原点位置調整などができます。

(3) 帳票印刷機能

- ・特定ページのみ印刷、縮小印刷、印刷状態の監視を行うことができます。

(4) 帳票データ編集機能

- ・帳票データをテキスト形式やCSV 形式などに出力できます。

(5) 帳票データ検索機能

- ・帳票の中から指定した文字列、数値、日付、条件の項目データを検索できます。

(6) 帳票入力機能

- ・メモ、付せん、ラインマーク、チェックマークなどを帳票に記入できます。

(7) カスタマイズ機能

- ・クライアント機能を制御するオートメーションメソッドを提供しています。

(8) Web 連携機能

- ・Web クライアントから帳票資源にアクセスできます。(Webゲートウェイ機能を利用)
- ・帳票の管理情報や帳票内の文字列による帳票の検索ができます。

- ・ 帳票一覧から複数帳票の一括印刷ができます。
- ・ 検索条件と記入情報の保存/再利用ができます。

(9) スマートデバイス(タブレット)での参照

- ・ サンプルを使用することにより、保管フォルダに格納された帳票をPDF形式で参照することができます。

4. 帳票保管活用機能におけるアクセス権管理

以下の方法により、サーバ上のフォルダ/帳票に対して、きめ細やかなアクセス権管理を行うことができます。

(1) 帳票の登録時に設定するアクセス権管理

帳票の登録時に、帳票に対する操作権限を、ユーザ/グループ単位で設定することができます。

(2) 管理者ツールを使用して設定するアクセス権の管理

管理者ツールを使用して保管フォルダ、および保管フォルダに格納されている帳票に対するアクセス権の管理作業（フォルダの作成/削除や記入、印刷、データ連携などの機能ごとにアクセス権を設定）を行うことができます。

また、管理者ツールではアクセス権のインポート/エクスポート機能をサポートしているため、アクセス権の一括設定機能をフォルダの移動・複写・変更機能と併用することで、組織変更への対応が更に容易になります。

5. 帳票印刷配信機能におけるアクセス権管理

配信フォルダと配信出力先へのアクセス権を設定できます。

アクセス権管理作業（一覧表示/帳票印刷/帳票削除のアクセス権を設定）を行うことができます。

アクセス権の設定や変更は、コマンドのアクセス権のインポート/エクスポート機能を使用して一括で実施する事が可能です。

6. 帳票印刷配信機能におけるトナー削減印刷

当社独自開発のトナー削減により、環境に配慮しながら、高品質な印刷ができます。トナー削減率の調整が可能なため、印字具合やバーコードの読み込みといった印刷状態を考慮しながら、トナーの消費量を抑えることができます。

7. 帳票印刷配信機能における再印刷マークの印字機能

再印刷時に、帳票のすべてのページに対して、2回目以降の印刷をしたことを示す再印刷マークを印刷することができるため、納品書や請求書などの誤発行の防止に利用できます。

再印刷マークは、印刷先のプリンタのプールデータ形式がEMFの場合のみ有効になります。

注：再印刷マークの印刷有無は、帳票登録時に帳票情報で設定します。登録済みの帳票に対して、再印刷マークの印刷有無は変更できません。

8. セキュリティ機能

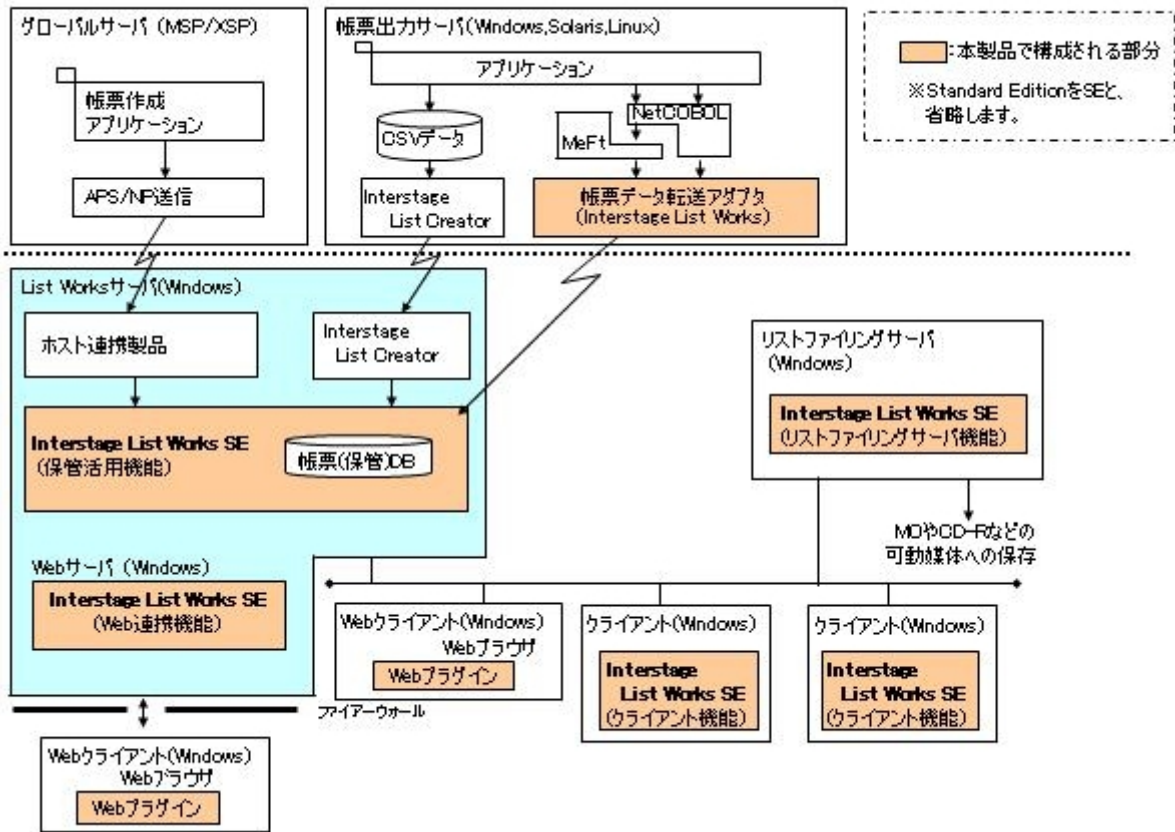
以下の対応により、帳票操作による証跡を残せるようになります。

- 操作ログへの出力
- 操作ログの改ざん検知
- 操作ログの分析ツール(サンプル)（注1）
- 印刷物に対して、印刷者のID出力・記入情報の有無を印刷（ID印刷）（注1）（注2）

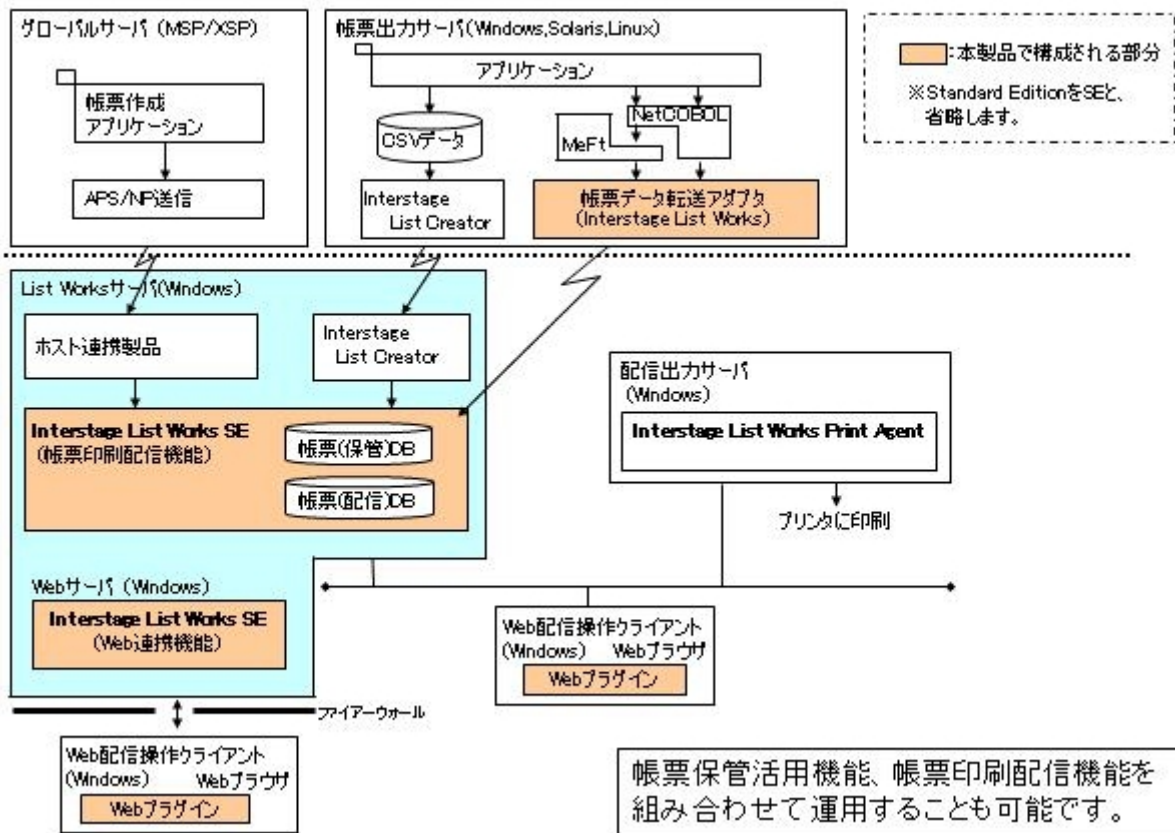
注1：本機能は、帳票保管活用機能でのみご利用できます。

注2：ID印刷（印刷者のユーザIDや印刷日時、記入情報の有無）の印刷有無は、帳票登録時に帳票情報で設定します。登録済みの帳票に対して、ID印刷の印刷有無は変更できません。

帳票保管活用機能を使用したシステム



帳票印刷配信機能を使用したシステム



V10.3.3からV11.0.0の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. 新OS対応

以下のOSに対応しました。

- ・Windows Server 2022
- ・Windows 11

2. マルチブラウザ対応

Webプラグインで以下のブラウザに対応しました。

なお、従来互換のActiveXコントロールを使用して帳票を表示する場合は、Microsoft Edge Internet Explorerモードのみ使用可能です。

- ・Microsoft Edge
- ・Microsoft Edge Internet Explorerモード
- ・Google Chrome

・ オンラインマニュアル

- Interstage List Works V11.0.0 マニュアル体系と読み方 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 運用手引書 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 環境構築手引書 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 保守手引書 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 コマンドリファレンス (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 API リファレンス (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 操作手引書 運用管理者編 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 操作手引書 利用者編 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 メッセージ集 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 用語集 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 帳票印刷配信手引書 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 リリース情報 (PDF形式)
- Interstage List Works 帳票保管活用機能 トラブルシューティング (PDF形式)
- Interstage List Works 帳票印刷配信機能 トラブルシューティング (PDF形式)

【メディア】

- ・ Interstage List Works Standard Edition メディアパック (64bit) V11.0.0

【サブスクリプションライセンス/サポート】

[サブスクリプションライセンス/サポート(月額払い)]

- ・ Interstage List Works Standard Edition プロセッサライセンス for Windows (SL&S)
- ・ Interstage List Works Standard Edition サーバライセンス (クライアントライセンス用) for Windows (SL&S)
- ・ Interstage List Works 1クライアントライセンス for Windows (SL&S)
- ・ Interstage List Works 20クライアントライセンス for Windows (SL&S)

[サブスクリプションライセンス/サポート(まとめ払い)]

- ・ Interstage List Works Standard Edition プロセッサライセンス for Windows (SL&S) 7年
- ・ Interstage List Works Standard Edition サーバライセンス (クライアントライセンス用) for Windows (SL&S) 7年
- ・ Interstage List Works 1クライアントライセンス for Windows (SL&S) 7年
- ・ Interstage List Works 20クライアントライセンス for Windows (SL&S) 7年

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体(DVD等)のみ提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。初回購入時には、最低1本のメディアパックとサブスクリプションライセンス/サポートを同時にご購入ください。

本メディアパックの購入でバージョンアップ/レベルアップすることはできません。

バージョンアップ/レベルアップする場合は本メディアパックを購入せず、アップグレード権を行使してメディアを入手してください。

2. ライセンスについて

本商品には、プロセッサライセンス方式とユーザライセンス方式の2種類の購入方法があります。それぞれの方式のどちらかを選択してください。

(1) プロセッサライセンス方式

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおり必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。
- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「FUJITSU Software（ライセンス）」内、「富士通製ミドルウェア商品のライセンス体系について」を参照ください。

(2) ユーザライセンス方式

- ・サーバライセンス（クライアントライセンス用）

サーバライセンスは、クライアントライセンスを購入して本商品をインストールする場合に購入する必要があります。本商品をインストールするサーバ数分、本ライセンスの購入が必要です。

- ・クライアントライセンス

クライアントライセンスは、利用するクライアント数分のライセンスを購入してください。

3. 本商品に含まれるコンポーネントについて

本商品に含まれる以下のコンポーネントは、複数のコンピュータにインストールして本商品と組み合わせて使用することができます。

- リストファイリングサーバ
- List Worksプリンタドライバ
- Message Client

4. ターミナルサービス(TS)/リモートデスクトップ(RDS)/XenApp運用時の購入方法

(1) プロセッサライセンス方式

プロセッサライセンスの場合は、クライアント接続が無制限に許可されているため、クライアントライセンスの購入は不要です。

(2) ユーザライセンス方式

本商品を利用予定のTS/RDS/XenAppクライアント毎に、クライアントライセンスが必要です。

5. V7.0以降からのバージョンアップ/レベルアップについて

V7.0以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン/レベルを提供いたします（お客様からのご要求が必要です）。

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン/レベル商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問合せください。

6. V6.0以前からのバージョンアップについて

V6.0以前の本商品をお持ちの場合は、弊社営業/SEにお問い合わせください。

7. Interstage List Manager Standard Edition V7.0L10以降からの移行について

Interstage List Manager Standard Edition V7.0L10以降から移行する場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」の導入有無によって、移行方法が異なります。

- ・有償サポート・サービス「SupportDesk」を導入されている場合

サービスの一環として、Interstage List Works Standard Edition V11.0.0、およびInterstage List Creator Standard Edition V9.3.1以降を提供いたします。（お客様からのご要求が必要です）。

- ・有償サポート・サービス「SupportDesk」を導入されていない場合

Interstage List Works Standard Edition V11.0.0とInterstage List Creator Standard Edition V9.3.1以降をご購入頂く必要がありますので、ご注意ください（価格の優遇はございません）。

「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問合せください。

また、移行する際には、弊社営業/SEにお問合せください。

8. 購入時の特約事項

サブスクリプションライセンス/サポートの契約におけるライセンス使用条件の特約事項について記載します。

[サーバライセンスに適用されるライセンス使用条件]

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) 本商品に含まれるコンポーネントについて

対象プログラムに含まれる機能の一部である「リストファイリングサーバ」、「List Works プリンタドライバ」、「Message Client」については、お客様はサブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号にかかわらず、日本国内において複数のコンピュータにインストールして使用することができます。

(3) 同梱する機能の使用について

お客様は、対象プログラムに含まれる機能の一部であるInterstage Application Server、Symfoware Serverを、お客様がInterstage List Worksをサブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書の定めに従って使用する目的でのみ、使用できます。それ以外の目的では使用できません。

(4) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本サービスのうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

1. 同梱以外のInterstage Application Serverを使用する場合

本製品に同梱しているInterstage Application Server(注1)以外を使用する場合は、製品版のInterstage Application Server V13.0.0Aが必要です。

注1) Interstage List Works V11.0.0で同梱している製品は、Interstage Application Server Enterprise Edition V13.0.0Aです。

2. 同梱以外のSymfoware Serverを使用する場合

本製品に同梱しているSymfoware Server(注1)以外を使用する場合は、以下のいずれかの商品が必要です。

- ・ Symfoware Server Enterprise Edition (Native) V12.6.0
- ・ Symfoware Server Standard Edition (Native) V12.6.0

注1) Interstage List Works V11.0.0で同梱している製品は、Symfoware Server Enterprise Edition (Native) V12.6.0です。

3. 帳票印刷配信機能を使用した印刷業務の運用効率を上げる場合

以下のいずれかの商品を用意することで、プリンタ装置の設置台数、設置場所、またはプリンタ装置とのネットワーク回線の状況に応じて、印刷業務を効率よく運用でき、印刷業務の継続性を維持することができます。

- ・ Interstage List Works Print Agent V10.0.0
- ・ Interstage List Works Print Agent V10.1.0
- ・ Interstage List Works Print Agent V10.1.1
- ・ Interstage List Works Print Agent V10.2.0
- ・ Interstage List Works Print Agent V10.3.0
- ・ Interstage List Works Print Agent V10.3.1
- ・ Interstage List Works Print Agent V10.3.2
- ・ Interstage List Works Print Agent V10.3.3

4. 帳票印刷配信機能でList Creator互換印刷機能を使用する場合

List Creator互換印刷機能を使用して、配信フォルダ内の帳票を表示する場合は、以下の商品が必要です。

- ・ Interstage List Works Print Agent V10.1.0/V10.1.1と連携する場合

Interstage List Creator Enterprise Edition V9.3.0以降 (注1)

- ・ Interstage List Works Print Agent V10.2.0/V10.3.0/V10.3.1/V10.3.2/V10.3.3と連携する場合

Interstage List Creator Enterprise Edition V10.0.0以降 (注1)

注1) 64-bit製品は使用できません。

5. Interstage List Creatorの出力帳票を電子化する場合

Interstage List Creatorの出力帳票を電子化する場合は必要です。

- ・ Interstage List Creator Standard Edition V11.0.0
- ・ Interstage List Creator Enterprise Edition V11.0.0

6. PDF帳票を生成する場合

PDF帳票を生成する場合(注1)は、以下が必要です。

- ・ Interstage List Creator Enterprise Edition V11.0.0

注1) 以下の機能を使用する場合を示します。

・ リスト管理サーバ上で、PDF変換コマンド、サーバ機能APIのLW_CreatePDFFileEx(帳票のPDF変換)、PDFメール配信、およびWebクライアントからPDF変換/表示する機能を使用する場合

7. 運用形態によって必要となるソフト

- ・富士通ホスト帳票の場合
- ・オープン帳票の場合

富士通ホスト帳票(分散印刷形態)に必要なソフト

【分散印刷形態】

富士通ホスト	OSIV/MSP APS V11L10/V12L10 または OSIV/XSP APS V11L10/V12L10
	OSIV/MSP APS/NP V10L10 または OSIV/XSP APS/NP V10L10
	OSIV/MSP FLOP/X V10L10 OSIV/XSPではシステム標準 (WindowsサーバでInterstage Charset Managerを利用しない場合)
	OSIV/MSP ADJUST V12L10 OSIV/XSP ADJUST V12L10 (WindowsサーバでInterstage Charset Managerを利用する場合)
	OSIV/MSP SystemWalker/PrintASSORT V10L10 または OSIV/XSP SystemWalker/PrintASSORT V10L10 (グローバルサーバ上の帳票データを電子帳票化するための仕分機能および、 電子帳票の管理情報の付加を行う場合)
Windows サーバ	ホスト連携製品(HOST FRINT V7.2L11以降、FNA Server V7.2/V8/V9、および 通信制御サービス V7.2/V8/V9)
	Interstage Charset Manager Standard Edition V10.00
WWWサーバ	Interstage Application Server Enterprise Edition V13.00A
クライアント	<ul style="list-style-type: none"> ・帳票表示をActiveXコントロール版で行う場合 <ul style="list-style-type: none"> - Microsoft Edge Internet Explorerモード - Internet Explorer 11 ・帳票表示をWebプラグイン版で行う場合 <ul style="list-style-type: none"> - Microsoft Edge - Microsoft Edge Internet Explorerモード - Google Chrome - Internet Explorer 11

富士通ホスト帳票(ファイル転送形態)に必要なソフト

【ファイル転送形態】

富士通ホスト(注1)	OSIV/MSP ADJUST V12L10 または、OSIV/XSP ADJUST V12L10
	OSIV/MSP LISTVIEW V10L20/V10L30 または、OSIV/XSP LISTVIEW V10L20/V10L30
Windowsサーバ	Interstage Charset Manager Standard Edition V10.0.0
WWWサーバ	Interstage Application Server Enterprise Edition V13.0.0A
クライアント	<ul style="list-style-type: none">・帳票表示をActiveXコントロール版で行う場合<ul style="list-style-type: none">- Microsoft Edge Internet Explorerモード- Internet Explorer 11・帳票表示をWebプラグイン版で行う場合<ul style="list-style-type: none">- Microsoft Edge- Microsoft Edge Internet Explorerモード- Google Chrome- Internet Explorer 11

注1: 富士通ホスト上のユーザ定義文字および富士通拡張漢字・非漢字をWebクライアントで利用する場合、以下の商品が必要です。

- Interstage Charset Manager Standard Edition V10.0.0
- JEF拡張漢字サポート V7.2/V8

オープン帳票に必要なソフト

帳票出力サーバ	MeFt V10.0.0以降
	NetCOBOL Enterprise Edition サーバ運用パッケージ V11.1.0以降
	NetCOBOL Standard Edition サーバ運用パッケージ V11.1.0以降
	NetCOBOL Base Edition サーバ運用パッケージ V11.1.0以降
	Interstage List Creator V11.0.0
Windowsサーバ	Interstage Charset Manager Standard Edition V10.0.0(外字を利用する場合)
WWWサーバ	Interstage Application Server Enterprise Edition V13.0.0A
クライアント	<ul style="list-style-type: none">・帳票表示をActiveXコントロール版で行う場合<ul style="list-style-type: none">- Microsoft Edge Internet Explorerモード- Internet Explorer 11・帳票表示をWebプラグイン版で行う場合<ul style="list-style-type: none">- Microsoft Edge- Microsoft Edge Internet Explorerモード- Google Chrome- Internet Explorer 11

8. 外字を扱う場合

外字を扱う場合は以下のいずれかの商品が必要です。

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition V10.0.0

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V10.0.0

外字にはJEF第1水準 / 第2水準の旧字体、シフトJISコードのベンダ固有文字/利用者定義文字が含まれません。

9. NetCOBOL/MeFt帳票の印刷データにUTF-32を使用する場合

NetCOBOL/MeFt帳票の印刷データにUTF-32を使用する場合は、以下のいずれかの商品が必要です。

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ (64bit) V11.1.0以降
- NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ (64bit) V11.1.0以降
- NetCOBOL Base Edition 開発パッケージ (64bit) V11.1.0以降
- NetCOBOL Enterprise Edition サーバ運用パッケージ (64bit) V11.1.0以降
- NetCOBOL Standard Edition サーバ運用パッケージ (64bit) V11.1.0以降
- NetCOBOL Base Edition サーバ運用パッケージ (64bit) V11.1.0以降

10. Oracleでデータベースを構成する場合

Oracleでデータベースを構成する場合は、以下のいずれかの商品が必要です。(注1)

- ・ Oracle Database Enterprise Edition 19c
- ・ Oracle Database Standard Edition 2 19c

注1) 帳票印刷配信機能を利用する場合は、ConnectionEventListenerが実装されている修正パッチをOracle製品のSupportDesk契約に基づいて、SupportDeskから入手して適用してください。

1. プリンタ

本商品の印刷管理機能は、Windows システムに接続されるプリンタ装置で動作します。

1. 本商品に組み込まれている商品の留意事項について

Interstage Application Server Enterprise Edition V13.0.0、Symfoware Server Enterprise Edition(Native) V12.6.0の留意事項も参照してください。

2. Windows サーバOS (64-bit)上での動作

本商品は、以下のOS上で、64ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2016(64-bit)
- Windows Server 2019(64-bit)
- Windows Server 2022(64-bit)

3. Windows デスクトップOS (64-bit)上での動作

本商品は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 8.1(64-bit)
- Windows 10(64-bit)
- Windows 11(64-bit)

注) Windows 32-bit On Windows 64-bit

4. Windows Server での留意事項

- ・ ReFS(Resilient File System)形式での動作保証はしていません。NTFS形式を使用してください。
- ・ プリンタドライバの種類がType4のプリンタドライバは使用できません。Type3のプリンタドライバを使用してください。
- ・ Server Core、およびNano Server 環境では動作しません。

5. Internet Explorerでの留意事項

- ・ Internet Explorer 11のタブブラウジング機能には対応していません。
- ・ Internet Explorer 11では、Internet Explorerのアイコンをクリックして複数のInternet Explorerを起動して操作することができません。
- ・ Internet Explorer 11の「最終閲覧セッションを再度開く」を使用して、Interstage List Worksを操作することはできません。
- ・ Internet Explorer 11の「ActiveXフィルター」が有効になっている場合、帳票表示画面、帳票一覧からの印刷画面が正しく表示されません。また、ポーリング印刷が正しく動作されません。
- ・ Web配信操作クライアントで、Internet Explorer 11をビルドインAdministratorで起動、または「管理者として実行」による起動をしても画面が正しく遷移しない場合があります。詳細は、Microsoft社のホームページから、該当レポート(2909974)を参照願います。
- ・ List Works帳票の表示、印刷を行う場合には、「List Works ListPrint ActiveX Control」を有効にしてください。
- ・ Web配信操作クライアントで、Internet Explorer 11を利用する場合、Internet Explorerの互換表示を有効にしてご使用ください。

6. JIS2004コード系の注意事項

JIS2004で新たに追加された文字は、帳票に表示される印刷データの文字については、ビットマップで表示されます。ただし、帳票名や作成者名など、Interstage List Worksの管理情報やGUI操作時は、使用できません。

JIS2004は従来のフォント(JIS90)と比較して、字形が変更される文字や新しく追加される文字があります。これらの文字の詳細および対処方法については、Microsoft社のホームページでご確認ください。

JIS2004対応により 以下の影響があります。

・帳票およびオーバーレイで字形が変更された文字が含まれていた場合、Interstage List Worksが動作保証しているWindows環境で帳票を表示/印刷した結果と、動作保証外のOSで帳票を表示/印刷した結果が異なります。

7. IPv6について

帳票保管活用機能において、IPv6通信に対応しました。

ただし、以下の留意事項があります。

1) 以下の場合はIPv4でのみ通信します。

a. Windows版 Interstage List Works V10.2以降のコンポーネントと以下のコンポーネントとの間

- Windows版 Interstage List Works V10.1以前
- Solaris版 Interstage List Works V8以前
- Linux版 Interstage List Works

b. 富士通ホストとWindows版 Interstage List Works V10のリスト管理サーバとの間

c. リストファイリングサーバを経由したファイリング

2) 以下の場合は、IPv6のみの環境に対応しません。

- リスト管理サーバ(注1)
- Webゲートウェイサーバ(注1)
- List Worksクライアント(注2)

注1) リスト管理サーバおよびWebゲートウェイサーバは、IPv4/IPv6デュアルスタック環境で運用してください。(IPv6のみの環境には、対応していません。)

注2) List Worksクライアントで帳票エントリファイルを受信して、帳票を表示する場合は、IPv4/IPv6デュアルスタック環境で運用してください。(IPv6のみの環境には、対応していません。)

8. 同梱しているInterstage Application Server

本製品のWebゲートウェイサーバ、リスト管理サーバ、配信管理サーバおよび配信出力サーバを構築するために、Interstage Application ServerのWebサーバ(Interstage HTTP Server 2.4)、GlassFish 5、Webサーバコネクタ(Interstage HTTP Server 2.4用)、Interstage管理コンソール、OpenJDK 8、マルチ言語サービスの基本機能を使用します。

その他のInterstage Application Serverの機能、ユーザWebアプリケーションの開発・運用、および本製品のマニュアルや製品ドキュメントで記述している以外の方法・手順などで本製品に同梱しているInterstage Application Serverを使用することは、認めていません。

上記に該当する場合、別途Interstage Application Serverの製品を購入する必要があります。

9. MICAR、およびMICAR IIシステムを利用したファイリングについて

MICAR、およびMICAR IIシステムは、複数のリスト管理サーバから、1台のMICAR、およびMICAR IIシステムに対してのファイリングを動作保証していません。

10. ListWORKS CD-ROM作成オプションについて

ListWORKS CD-ROM作成オプションは、KISCO株式会社の商品です。Interstage List Worksの帳票データをCD-ROMに格納する場合に必要になります。本商品につきましては、下記までお問い合わせください。

KISCO株式会社 第三営業本部DSシステムチーム

〒103-8410 東京都中央区日本橋本町四丁目11-2

Tel 03-3663-0265 Fax 03-3661-0037

URL <http://www.kisco-net.com/>

11. ポーリング印刷を自動的に起動するJSPについて

ポーリング印刷を自動的に起動するJSPは、Web連携機能のサンプルJSPに組み込まれています。

12. バージョンアップ時の留意事項

(1) 旧版のユーザ資産を移行する場合には、本商品に添付されている移行ツールを使用した移行作業が必要になります。

(2) 保管フォルダ、配信フォルダの管理用にデータベース(Symfoware またはOracle)の構築が必要です。本商品にはSymfoware Server Enterprise Edition(Native) V12.6.0相当のRDB エンジンが含まれています。

13. パスワードの拡張機能について

ファイリングを実行するユーザIDのパスワードは、14文字以内にしてください。

14. List Worksプリンタドライバについて

List Work プリンタドライバは、標準のGDI出力形式のみをサポートしています。

PostScript出力形式やJava Printer Driver形式等の独自形式の場合は、List Work プリンタドライバを使用しての帳票登録処理はできません。

15. WebクライアントとWeb配信操作クライアントについて

帳票保管活用機能のWebクライアントと、帳票印刷配信機能のWeb配信操作クライアントを同一のパソコンで使用する場合、同時にそれぞれのクライアントからログインした状態で、操作することはできません。

16. 排他製品について

本商品の排他製品に関する情報は、弊社営業/SEにお問い合わせください。

17. スマートデバイスでのご利用について

本商品のWeb連携機能APIを使用したサンプルプログラムは、スマートデバイスでのブラウザを利用した運用に対応しています。

サポートブラウザ等の詳細情報は、「関連URL」に記載の「FUJITSU Software (スマートデバイスにおける動作条件)」を参照してください。

18. FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン、パブリッククラウドについて

FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン、パブリッククラウドは、帳票保管活用機能のみ対応しています。

19. Windows Server 2019での帳票印刷配信機能の印刷性能について

帳票印刷配信機能において以下の場合に印刷操作を行うと、Windows Server 2012 R2やWindows Server 2016に比べ、帳票内の文字数に応じて印刷データを生成する時間が数倍増加することがあります。

- List Creator互換印刷機能を使用する、かつ、配信出力サーバのOSがWindows Server 2019の場合

詳細については、「関連URL」に記載の「FUJITSU Software (Interstage List Works)」内、「本製品のお問い合わせ」までお問い合わせください。

20. 前版との違いについて

(1) V11.0.0より、64bit商品に変更しました。

Interstage List Worksのユーザ認証に、ユーザ作成ライブラリによる認証を利用している場合は、認証を行う出口ルーチンは64ビットモードで作成する必要があります。

(2) V11.0.0より、以下のOSでの利用はサポート対象外となります。

-Windows Server 2012 R2(64-bit)

-Windows Server 2012(64-bit)

(3) V11.0.0より、以下の機能はサポート対象外となります。

- FAX配信機能
- TEAC社製CD-R装置との連携
- 以下の移行コマンドのサポート
 - ・ V7以降のコマンド (Iwenvin.exe、Iwenvout.exe、Iwresin.bat、Iwresout.bat)
 - ・ V6以前のコマンド (F5CWTRFL.EXE、F5CWTRLW.EXE)
- Internet Information Services(IIS)のサポート
- List Works仮想プリンタ(旧版からの互換機能)を使用した帳票の登録

21. Systemwalker Centric Managerと共存時の注意事項

以下の組み合わせでの共存はできません。

- Windows(32bit)版Systemwalker Centric Manager と、Windows版Interstage List Works V11以降

ただし、Systemwalker Centric Managerの運用管理クライアントとInterstage List Worksのクライアントは共存可能です。

お客様向けURL

- FUJITSU Software (Interstage List Works)

本商品の詳細は、以下のホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/interstage/listworks/>

- FUJITSU Software (ソフトウェアの一覧表 (システム構成図) と各種対応状況)

価格/型名の一覧 (システム構成図) を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>

- FUJITSU Software (インフォメーション&ダウンロード)

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で、富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>

- FUJITSU Software (スマートデバイスにおける動作条件)

スマートデバイスでの動作条件情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/smartdevice/>